

森の利用と森を守るしくみを創ろう

小林冬樹

調布市では、市域の崖線に残った樹林の保全管理計画づくりを数年前から進めています。その成果と、今策定中の通称「カニ山」(深大寺自然広場)の計画についての意見交換会(昨年12月実施)での市民の声を合わせ、市内の緑の守り方と利用について考えてみました。

すでに策定済みの布田や仙川などの崖線樹林地保全管理計画は、実態調査と、それに基づく樹林管理の技術的な方針から出来ています。実態調査は不可欠ですが、その他の管理方針はリアルな課題(行政と市民の守備範囲の調整、隣接地周辺環境の変化への対応等々)の解決には役立たないという声は、樹林管理を実際行っている市民からも聞こえます。また意見交換会では、告知も無いまま進められてしまった市による間伐工事への戸惑いが語られました。同じ森に対し、



手を加えない保護重視の意見と、多少の森への影響は許容して森で子どもを遊ばせたいという対立的な意見も出ました。

樹林の生態は季節毎、数年単位の期間、場所柄等、多様性と予測不可能な変化に満ちています。また、保全管理に参画している市民、子どもの森あそび活動を熱心に行っているグループ、そして近隣住民の皆さん、行政が委託する管理の専門家など、立場や関心は異なっていますが、それぞれ独自に活動し、深く関わる点では同じである人々がいます。そんなことから、一つのデスクから指令するような形式化・標準化された即応力のとぼしい問題解決方法は相応しくないようです。「現場において各自がやれることはすぐやる」「多様な主体間ですること、やったことを認め合い検証しあう持続的なしくみ」が必要です。また、そのようなしくみに相応しいコミュニケーションの技術や発信の工夫も不可欠でしょう。



世田谷公園のプレーパーク宣言の看板

インフォメーション

○おしゃべりカフェ

2月10日(月) 10時10分～12時

場所: あくろす3F和室



給食の牛乳について自由に話しましょう!

○第一回定例会は2月28日(金)から

市長の所信表明があり、2020年度の予算が審議される重要な議会です。各会派の代表質問もありますので、ぜひ傍聴にいらしてください!

○調布・生活者ネットワークのメンバーになりませんか?

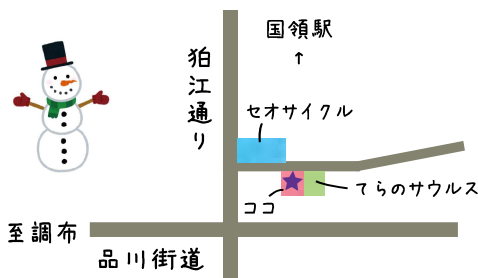
メンバーの素朴な声をもとに研究、調査を立ち上げ、代理人(ネット議員)を通して政策提案をしたり一般質問に繋がったりします。楽しいですよ!

☆おしゃべりサロンやっています☆

毎月第4木曜日10～12時
(議会の日程などにより変更もあり)
立ち寄ってくださった方と、いろいろな
お話をさせていただいています。

1月は23日(木)です。

国領の事務所でお待ちしています。



市民の皆さまに分かりやすく、読みやすい紙面を目指しています。ご意見をお寄せください。